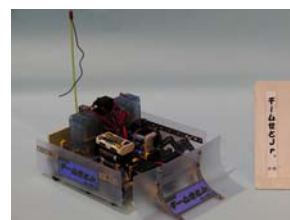
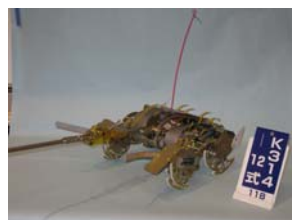


川崎でロボットが生まれる！人が育つ！
挑戦ものづくり登竜門！

第17回かわさきロボット競技大会 協賛企業・団体募集のご案内

2010年8月開催



財団法人川崎市産業振興財団：かわさきロボット競技大会実行委員会

<http://www.kawasaki-net.ne.jp/robo/>

21 財産振事第 270 号
平成 年 月 日

様

財団法人川崎市産業振興財団
理事長 君 嶋 武 胤

第 17 回かわさきロボット競技大会開催にかかるご協賛及び貴社広告
の掲載について（依頼）

残冬の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃から当財団の事業につきまして特段のご理解を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、近年、ものづくり基盤技術は経済の多様化、産業構造の変化等を受け、さらにはものづくり技術の担い手としてその水準維持及び向上に重要な役割を果たしてきた熟練技能者の高齢化や若年者を中心としたものづくり離れが進み、その衰退が懸念されています。

そこで当財団では、平成 6 年度から青少年のものづくり基盤技術に対する関心と理解を深め、ものづくり基盤技術を支える創造性に富んだ人材の育成を図るため、総合技術的なロボットの製作を通じ、現場で活躍していく上で必要な一連の技術・技能が修得できる場の提供である「かわさきロボット競技大会」を開催してまいりました。

本大会も来年度で 17 年目を迎え、過去の大会で培ってきた「ものづくり都市川崎」における、ものづくり気運の醸成と技術者育成、技術力の継承をさらに発展させるため、前回大会にも増して充実した大会を企業や団体の皆様と共に開催してまいりたいと存じます。

つきましては、是非、ご協賛並びに貴社広告の掲載を賜りたく、心からお願い申し上げます。

担当 事業推進課 塩川 克久

TEL 044-548-4117・FAX 044-548-4110

〒212-0013 川崎市幸区堀川町 66-20

E-Mail kawarobo@kawasaki-net.ne.jp

**開催の目的**

「ものづくり都市 川崎」として蓄積された技術や人材をさらに発展・継承させるため、“若者のものづくり登竜門”としての総合技術的なロボットの製作を通じ、青少年の具体的なものづくりを体験する場の提供と、次世代産業を担う技術者の育成、技術力の向上を図ることを目的として平成6年から実施し、昨年(2009年)8月の大会で16回目を迎えました。

- 名 称 第17回かわさきロボット競技大会
- 開 催 日 平成22年8月27日(金)～29日(日) 3日間 (予定)
- 開催場所 川崎市産業振興会館(神奈川県川崎市幸区堀川町66番地20)
- 主 催 財団法人川崎市産業振興財団
- 共催(予定) 川崎市
- 運 営 第17回かわさきロボット競技大会実行委員会
- 後援(予定) NHK横浜放送局、(社)日本ロボット工業会、(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構、関東経済産業局、神奈川県、川崎市教育委員会、かわさき・神奈川県ロボットビジネス協議会
- 来場見込数 2,000名(3日間延べ人数) ※昨年実績から
- 当日入場料 無料(一般見学可能)
- 広報宣伝 昨年実績
新聞(神奈川新聞、東京新聞、日本経済新聞、日刊工業新聞)
産業情報かわさき・アゼリアビジョン
テレビ(JCN大田、イツツ・コム)
雑誌(機械設計・ロボコンマガジン)
パンフレットの市内図書館・市民館へ配布
- ホームページ <http://www.kawasaki-net.ne.jp/robo/> (「かわロボ」で検索)



開催内容

○バトルロボットトーナメント(高校生以上)

競技内容:脚・腕構造を持つラジコン型ロボットによる異種格闘技戦

競技方法:トーナメント方式(予選トーナメント1本勝負、敗者復活戦あり)

(決勝トーナメント3本勝負)

ロボット条件:大会実行委員会の指定する部品(モータ・プロポ)を使用し、重量 3,500 グラム以内、
大きさ幅 25 cm以内・奥行き 35 cm以内・高さ 70 cm以内。

参加費:社会人 10,000 円/学生 8,000 円

募集チーム数:204チーム(昨年249チーム)

賞金・賞品:(主な内容)

優勝(500,000円)、準優勝(200,000円)、第3位(100,000円)、

技術賞実機部門(200,000円)、技術賞企画部門(50,000円)、

デザイン賞(30,000円)、ファイティング賞(30,000円)、各協賛企業から企業賞



○Jr. ロボット競技部門(市内小・中学生)

開催内容:脚・腕構造を持つオリジナルロボットキットの製作から競技大会までを一貫して行う。

参加費:1チーム 3,000 円 ※オリジナル Jr.ロボットキット・送受信機の提供部品代を含む。

応募資格:川崎市内の小学生高学年から中学生を含む2名以上4名以下の参加でロボットの操縦者は中学生までとする。

募集チーム数:20チーム(昨年22チーム)

○ロボット技術見本市の開催(昨年実績6社)

加工技術、プログラム・コンピュータ技術などロボット製作に必要な技術(ノウハウ)を有する企業が大会期間中出展し、大会参加者、関連企業、来場者とのマッチング機会の創出を図る。

○技術交流会の開催(大会期間中以外)

ロボット大会参加者による技術・成果発表やロボットの最新技術や最新動向などの基調講演を行い、参加者同士の交流を図る。

○地域イベントへの参加(昨年の主な活動実績)

かわさきロボット競技大会では、広くロボットの楽しさを知っていただくため、各地でデモンストレーションを行っています。

実施日	運営	イベント名	
4月18日・19日	大会実行委員会	第5回かわさき楽大師	
5月24日	大会実行委員会	藤沢春祭り	
10月3日	小原歯車工業(株):KHK	KHK杯2009	
10月17日・18日	(財)川崎市産業振興財団	連連連・つなごうかわさき	
11月14日	小原歯車工業(株):KHK	埼玉県民の日スペシャル「ロボットバトルーナメント」	
12月15日	大会実行委員会	第8回湘南発!産学交流テクニカルフォーラム	



特徴

- 16回を重ね、全国的に知られる競技大会の一つ(昨年は予定数を超える249チームの応募)
- 一般参加型の競技大会(門戸開放型)
- ※社会人・学生(大学間)の枠を超えた技術的交流が盛んに行われ、裾野の拡大に繋がっている。
- 設計から製作まで全て自前で行い、ものづくりの基礎となる創造力、設計力、観察力、チームワーク力を養うことができる。
- 非転輪型移動方式を採用。幅広い工業製品に欠かせない重要な技術要素と密接不可分。
- ロボットの実用性に向けて不可欠であるパワーと耐久性、汎用性を持ったロボットコンセプト。
- 工業高校、高専、大学、企業などで技術習得の場として利用。

成果

- 16回、4500名を超える大会参加者による人的ネットワークの広がり。
(応募チーム数2,929、延べ10,000名以上)
- 毎年200チーム以上が参加。全体的に増加傾向が続いている。
- 加工技術の見本市、即戦力の人材発掘の場となっている。
- 大会参加者から生まれているものづくり技術者・研究者、ベンチャー企業の活躍。
- 企業や大学などで技術研修の場として利用されている。
- 技術者が年間を通し交流・活動できる場として平成21年12月に「ロボットサロン」を開設



ロボットサロン



ロボットサロン工作室

参加者からの声

<メッセージ>

○サレジオ工業高等専門学校OB 五十嵐 達也 氏(第11回～16回参加)

かわさきロボット。それは、己の知恵と技術を振り絞って、ものづくりの登竜門に立ち向かう者たちの戦いの舞台。設計、加工、組立、改良・・・チーム一丸となってロボットを作っていき、時には違うチーム同士が協力し合って製作することもしばしばと。かわさきロボットは、社会人も学生もロボットの研究者もアマチュアも皆が同じフィールドで戦うことのできる大会。私は社会人に負けないようにと、ロボットを作っていたら、実は今年から私が社会人になっていたりしました・・・。

あなたも、かわさきロボット競技大会という名の物語、体験してみませんか？

○東京電機大学 自動制御研究部 橋本 隆憲 氏(第14回～16回参加)

かわさきロボット、それは技術者達のロボットタイマンバトル。

ロボにはドライバー自身の気合と根性が宿る。それは賭けた時間と情熱に比例する。

勝ちにいっくロボ、カッコいいロボ、戦いを魅せるロボ、何を作るか自分のインスピレーション次第。自分の力を魅せつける！ オンリーワンではなく、ナンバーワンを目指せ。今日からアンタもオレの戦友。決戦の日、戦場で会おう。



川崎市産業振興財団では今年8月に第17回かわさきロボット競技大会を開催いたします。メカニクス、エレクトロニクス、コンピュータ技術等と融合する総合技術的なロボットの製作を通して青少年における理科離れ傾向の緩和と具体的なモノづくりを体験する場の提供と次世代産業を担う技術者の人材育成、技術力の向上を図ることを目的とした競技大会です。

本大会も今年で17周年を迎え、総合的なものづくりの機会と位置づけ、新たなレギュレーション(競技方法・規則等)で行います。さらに若きエンジニアを育成するために小中学生を対象とした「かわロボ Jr.大会」を昨年に引き続き開催し、前回大会にも増して充実した大会を企業の皆様と共に開催してまいりたいと存じます。

つきましては、多くの皆さまにご参加をいただき、大いに盛り上げてまいりたいと思いますので、多数のご協力・ご協賛並びに貴社広告の掲載を賜りたく、心からお願い申し上げます。

■ 広告掲載

- ・広告掲載費は、1口50,000円を単位でお願い申し上げます。
- ・パンフレット広告サイズと協賛料の目安は以下のとおりです。

	パンフレット広告サイズ	協賛料(口数)
①	小サイズ(95 mm × 40 mm)	1口(50,000円)
②	中サイズ(170 mm × 50 mm)	2口(100,000円)
③	大サイズ(180 mm × 90 mm)	3口(150,000円)
④	特大サイズ(ご相談)	4口以上



表紙



裏面

募集用パンフレットイメージ(A4 8ページ)

※ロゴなどのデータがあれば支給願います。



① 中面 ② 中面
③
広告サイズのイメージ(募集用パンフレット)

※パンフレットは次の2種類です。

・参加者募集用パンフレット

カラー印刷、A4 8ページ、印刷部数10,000部、
配布先(マスコミ関係、市内公共機関、工業系学校)

・大会当日配布用パンフレット

白黒印刷、A4 6ページ、印刷部数1,200部、
配布先(大会当日参加者・来場者 他)

※広告数により大きさが変わる場合があります。

※広告スペースの位置は当方にお任せいただきます。



■ 広告掲載のつづき

- ・大会報告書(200部)、大会記録DVD(200部)への掲載
- ・公式ホームページでのPR。
- ・口数に応じて会場設備広告(賞品ボード、競技用リング名入れ 等)へも掲載させていただいております。詳細は下記のとおりです。【4口から】

	内 容	項 目
①	1口	貴社名入れ 募集パンフレット広告(小)、当日パンフレット広告(小)
②	2口	貴社名入れ 募集パンフレット広告(中)、当日パンフレット広告(中)
③	3口	貴社名入れ 募集パンフレット広告(大)、当日パンフレット広告(大)
④	4口	貴社名入れ 募集パンフレット広告(大)、当日パンフレット広告(大) 会場設備広告(賞品ボード、館内広告スペース等)
⑤	10口	貴社名入れ 募集パンフレット広告(大)、当日パンフレット広告(大) 会場設備広告(賞品ボード、館内広告スペース等)、 競技用リング名入れ ※注1 企業名ネーミングリング(冠リング) ※注2
⑥	20口	10口+ スタッフジャンパー名入れ

※注1 1リングに掲載(載せる)する企業数及び大きさは、依頼企業の数により調整させていただきます。

※注2 A~Dリングの割り当てにつきましては、依頼企業の数により調整させていただきます。

■ 協賛賞品の提供

- ・協賛賞品の提供は、定価10,000円×4品を目安にお願い申し上げます。
- ※賞品の受け渡し等、詳細につきましては別途ご相談申し上げます。
- ・パンフレットに貴社名を掲載させていただきます。(文字のみ)
- ・大会報告書(200部)、大会記録DVD(200部)への掲載
- ・公式ホームページでのPR。

お問合せ先 財団法人川崎市産業振興財団事業推進課内

(第17回かわさきロボット競技大会実行委員会 事務局)

〒212-0013 川崎市幸区堀川町66番地20 川崎市産業振興会館 内

電話 044-548-4117 FAX 044-548-4110 E-Mail kawarobo@kawasaki-net.ne.jp

第 17 回かわさきロボット競技大会
協賛・広告掲載申込書

平成 年 月 日

次の□にレ点をご記入ください。

協賛賞品の提供 内容未定
賞品名称 _____ × 個

広告掲載費の提供 有り _____口

無し

申 込 者 貴社名

氏 名

担 当 者 部署名

氏 名

連絡先 TEL

FAX

E-mail

お手数ですが平成 22 年 3 月 5 日までに本紙を FAX でお送りくださいますようお願い申し上げます。

・なお、ご不明な点につきましては、お手数ですが大会事務局までお問い合わせください。

お問合せ先 財団法人川崎市産業振興財団事業推進課内

(第17回かわさきロボット競技大会実行委員会 事務局)

〒212-0013 川崎市幸区堀川町 66 番地 20 川崎市産業振興会館 内

電話 044-548-4117 FAX 044-548-4110 E-Mail kawarobo@kawasaki-net.ne.jp